

資料提供

【報道関係者各位】

＜本件に関するお問い合わせ先＞
茨城県産業戦略部技術振興局科学技術振興課
研究開発推進グループ 【担当者】：中村、上山
直通：029-301-2499

令和4年12月16日

「いばらき脱炭素経営シンポジウム 2022」を開催します

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、ビジネスにおいても脱炭素経営に取り組む動きが進展しております。

茨城県では、県内企業・県民・行政関係者を対象に、脱炭素経営に関する最新動向や取組事例を紹介するシンポジウムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催方法：民間企業等による講演をWEB配信（参加費無料、要事前申込）

配信期間：令和4年12月20日（火）9:00～令和5年2月28日（火）17:00

申込方法：以下のURLにアクセスし必要事項を入力の上、お申し込みください。

いただいたメールアドレス宛に視聴用URLをお送りいたします。

【申込期限】令和5年2月28日15:00まで

【シンポジウムHP】https://peraichi.com/landing_pages/view/ibaraki-carbonneutral

【申込フォームHP】<https://forms.gle/Fydg43y3LKMwWCda7>

講演内容

◆基調講演（約20分）

『カーボンニュートラルと地域企業の対応＜事業環境の変化と取組の方向性＞』

経済産業省関東経済産業局

◆カーボンニュートラルソリューションサービス（約40分）

『脱炭素経営に向けた取組支援』

株式会社常陽銀行

『カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組』

株式会社日立製作所

◆中小企業のカーボンニュートラル、省エネの取組（約45分）

『省エネルギー診断と省エネ対策』

株式会社知識経営研究所

『省エネの取組』

株式会社ストロング

『省エネ診断と省エネ機器（コンプレッサ）の導入』

株式会社エムテック

◆グリーン新分野へのビジネスチャンス（約50分）

『グリーン社会の実現に向けた脱炭素金属部品製造技術』

株式会社大貫工業所

『廃プラ燃料を利用した温水発生ボイラの開発』

株式会社エコ・イン稲敷

◆水素の利活用促進（約60分）

『トヨタ商用FCEV取組&水戸市水素ステーション』

トヨタ自動車株式会社／トヨタモビリティパーツ株式会社

『ゼロエミッション・水素タウンにむけた水素吸蔵合金タンク開発と社会実装の取組』

国立研究開発法人産業技術総合研究所／清水建設株式会社

『カーボンニュートラルに向けた高温ガス炉および水素製造技術開発の現状』

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

主催者等

主 催：茨城県、いばらき水素利用促進協議会

後 援：経済産業省関東経済産業局

いばらき 脱炭素経営 シンポジウム 2022

公開期間 2022年 12/20 火 9:00 ▶ 2023年 2/28 火 17:00

開催方式

Web 配信

参加費無料

事前登録制

web サイト

参加申込フォーム



2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、
ビジネスにおいても脱炭素経営に取り組む動きが進展しております。
県では、県内企業・県民・行政関係者を対象に、脱炭素経営に関する
最新動向や取組事例を紹介するシンポジウムを開催いたします。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

1. 基調講演

経済産業省関東経済産業局
カーボンニュートラルと地域企業の対応

2. カーボンニュートラルソリューションサービス

株式会社常陽銀行
脱炭素経営に向けた取組支援
株式会社日立製作所
カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組

3. 中小企業のカーボンニュートラル、省エネの取組

株式会社知識経営研究所
省エネルギー診断と省エネ対策
株式会社ストロング
省エネの取組
株式会社エムテック
省エネ診断と省エネ機器（コンプレッサ）の導入

4. グリーン新分野へのビジネスチャンス

株式会社大貫工業所
グリーン社会の実現に向けた脱炭素金属部品製造技術
株式会社エコ・イン稲敷
廃プラ燃料を活用した温水発生ボイラの開発

5. 水素の利活用促進

トヨタ自動車株式会社・トヨタモビリティパーツ株式会社
トヨタ商用 FCEV 取組&水戸市水素ステーション
国立研究開発法人産業技術総合研究所／清水建設株式会社
ゼロエミッション・水素タウンにむけた
水素吸蔵合金タンク開発と社会実装の取組
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
カーボンニュートラルに向けた高温ガス炉および
水素製造技術開発の現状

主催
茨城県
いばらき水素利用促進協議会

後援
経済産業省 関東経済産業局